

宜野湾高校の生徒達へ（29）

2020.7.17

以下は、7月17日の朝、全体放送で本校生徒に話した内容です。大切な内容を含んでいるので、学校HPに載せることにしました。

生徒の皆さん、おはようございます。**新型コロナウイルス感染症対策**について、皆さんに伝えたいことがあるため、全体放送で話をするようになりました。

姿勢を正して、他人事ではなく、自分事として、真剣に聞いて下さい。それが、皆さん自身の命や学校生活を守るとともに、他の人の命を守ることにつながります。

こうして全体放送を行う理由は、今、新型コロナウイルスの第2波が襲来する可能性があるからです。沖縄県教育委員会から「**新型コロナウイルス患者・感染者発生時の対応**」についての文書も来ています。また、日本医師会は、「**対策再強化宣言**」(7/15)を出し、「3密」を避けるなど、感染防止対策の再度の徹底を呼びかけています。日本医師会の中川会長は、「感染拡大の大きな波が再度来そうな兆しがあり、**全国の皆さんに気を引き締め直してもらうために呼びかけたい**」と述べ、いわゆる「**3密**」を避けることの**重要性**を改めて強調しました。

さて、沖縄県の高校は、4月から5月の休業期間を経て、6月1日から通常授業となり、その後には部活動もできるようになりました。高校野球夏季大会も開催され、これからは県高校総体も行われます。しかし、県高校総体のガイドラインでは、新型コロナ感染者が出た学校は大会に出場することができません。各競技関係者の努力によって開催される県高校総体に本校が参加できない可能性もあるのです。

5月の分散登校の際、私は皆さんに次のことを話しました。今の皆さんができているかを各自、確認しながら聴いて下さい。

「夏以降、コロナ再流行の恐れ 不確実な未来に耐えよう」。「6月の学校再開後に休校の可能性もある」。「今後、私たちがいやでも直面するであろう現実を受け入れ、それに対する心構え、『**覚悟**』を持たないといけない。このような状況で、我々に求められるのは何か？ まずは、**感染拡大防止の予防策を徹底し、自分をはじめとする『命』を守る**こと。私たちに強く求められるのは自分をコントロールすることだ」。

以上が、5月の分散登校の際、私が皆さんに話したことの一部分です。「**自分をコントロールする意識**」、「**覚悟**」が、薄れてきてはいませんか？

今後、本校が休校にならず、皆さんが有意義な学校生活を送るために私たちができることは、皆さん一人ひとりが**新型コロナウイルス感染防止の意識を強く持って行動**することです。具体的には、次の5つを意識して行動して下さい。①**毎日の健康観察**、②**手洗いの励行**、③**咳エチケットの徹底**、④**3密の回避**（「密閉」を回避するためのこまめな換気、「密集」を回避するための**身体的距離の確保**、「密接」を回避するための**マスク着用**）、⑤**抵抗力を高める**（十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事）。以上の5つです。

宜野湾高校の生徒の皆さん、これまで以上に、新型コロナウイルス感染防止への取組をよろしく願います。